



学校だより

志高く

正しい判断力とたくましい実践力をもった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校
電話 048(521)0066
FAX 048(521)8429
令和5年5月15日
5月号

一所懸命

校長 清水利浩

平安時代の終わり、武蔵国北部(今の埼玉県)には、多くの武士が登場しました。この武士たちのことを**武蔵武士(むさしぶし)**といいます。



熊谷市域にも、熊谷氏をはじめ、多くの武士団が現れました。**成田氏**、別府氏、玉井氏、奈良氏、中条氏、**箱田氏**、**河上氏**、**久下氏**、市田氏、楊井氏、肥塚氏などです。東中学区の地名として、今も残っています。

これらの武蔵武士の多くは、小規模で、家来もあまりいませんでした。有名な熊谷直実でさえも、家来があまりい

ないような武士でした。源平の合戦では、熊谷直実・直家父子は、常に先陣を切って敵陣に挑むなど、命を懸けた戦いをしました。この戦いぶりを源頼朝は、『本朝無双の勇士』として紹介しています。

武蔵武士は、武力と経済力を背景に、土地を開発し、その土地を自分の領地として支配しました。そして、生活の基盤である領地の維持と拡大のために命を懸けました。これが、「**一所懸命**」です。

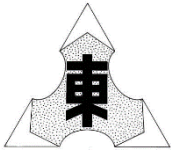
久下氏の館跡は、荒川の河川敷付近の古城(ふるしろ)という地名があり、このあたりではないかとされています。東竹院(とうちくいん)には、久下氏のお墓があります。成田氏の館跡は、成田公民館近くの泰蔵院(たいぞういん)の西側とされています。

私たちの住むふるさとのために、かつて「一所懸命」活躍した人物がいました。興味ある人は、ぜひ調べてください。おうちの方や地域の方に聞いてみるのもいいですね。私も学生時代、武蔵武士に興味をもち、大学の先生から武蔵武士の活躍について熱く講義を受けました。

<参考文献>・「通史でたどる熊谷の歴史」熊谷市立図書館 2022

・田代 脩「武蔵武士と戦乱の時代 中世の北武蔵」さきたま出版会 2009

・(武士の館の図) 歴史の教科書 1・2年生は P62、3年生は P64 から抜粋 東京書籍



がっちゅう R5 東 中の歩み



人権についての校長先生のお話 5月1日(月)

本校は、5月8日～19日までを今年度の人権旬間に設定しています。5月1日の朝会で、校長先生から「迷惑をかけることについて」というお話がありました。

※内容は、本校のホームページをご覧ください。

その後、各教室に戻り人権についての考えを作文に表現しました。

人権についても「正しい判断力とたくましい実践力」がとても大切です。笑顔の溢れる学校をつくっていきましょう。



連休後も、集中して学習しています！ 5月8日(月)

5月2日(火)の開校記念日を含め、今年は6連休でした。長い休みが明けた月曜日の授業の様子を見ると、どの生徒も集中し、そして一生懸命考えていました。

写真は、2年生の理科の様子です。先生や友達と対話し、学びを深めることができる熊谷東中学校の生徒です。



全校朝会「一所懸命」のお話 5月9日(火)



今月の学校だよりの左ページにある内容のお話が校長先生からありました。

じっくりと耳を傾ける全校生徒の姿が、この日もありました。朝会后、ある生徒にインタビューすると、「熊谷市の歴史についてもっと調べてみたくなりました。」と話していました。

埼玉県学力・学習状況調査 5月10日(木)

今年度も、国語、数学、英語(2,3年生のみ)、質問紙の調査が行われました。

本調査は、前年度までの学習内容を範囲としています。

集中して解答していましたね。最後まであきらめずにがんばりました。結果は、8月ごろに返却されます。

